

小学校 5年 家庭科 学習指導案

「情報の正確さを判断する方法を知る」

日 時：平成 年 月 日 ()

場 所：

授業者： 教諭 伊藤 卓哉

1 題材名 くふうしようかしこい生活 一品物の買い方を考えようー

2 題材について

(1) 題材観

小学校学習指導要領家庭科の内容には、『(1) 物や金銭の使い方と買い物について、次の事項を指導する。ア：物や金銭の大切さに気付き、計画的な使い方を考えること。イ：身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できること。』と示されている。

今の児童を取り巻く社会は、さまざまなものが溢れ、欲しい物を容易に購入することができる。児童にとって購買意欲をそそられる商品が次々に売り出され、必要だから買うのではなく、欲しいから買うという意識が当たり前のようになってきている。消費者教育の視点から、自分の消費生活に目を向け、一人の消費者としてよりよい消費生活を実践できる態度と能力を身につけさせたい。

(2) 児童の実態について (男子〇〇人・女子〇〇人：計〇〇人)

<アンケートの結果より>

①自分で買ったことがあるものはどれですか。(複数回答)

- ・おかし〇〇人 ・飲み物〇〇人 ・弁当などの食べ物〇〇人 ・学用品〇〇人
- ・比較的安いおもちゃ〇〇人 ・ゲームソフトなど的高額のおもちゃ〇〇人
- ・衣服〇〇人 ・プレゼント〇〇人 ・その他(部活の用具)

②買い物をするときどんなことに気をつけますか。(複数回答)

- ・物の値段〇〇人 ・物の品質〇〇人 ・物の生産地〇〇人
- ・賞味期限や消費期限〇〇人 ・大きさや量〇〇人 ・使われている成分や材料〇〇人
- ・環境にやさしい商品か〇〇人 ・本当に必要な物かどうか〇〇人
- ・使う目的に合っているか〇〇人 ・その他(デザイン)

③商品の情報をどうやって調べますか。

- ・テレビ(コマーシャル) 〇〇人 ・新聞や雑誌〇〇人 ・ちらしや広告〇〇人
- ・インターネット〇〇人 ・直接お店に行く〇〇人

④これまで買い物をして失敗した経験はありませんか。

- 大きさ(サイズ)が合わない すぐにいらなくなって捨てた
- 思っていたほどよい物ではなかった

<日頃の実態より>

- 部活の道具や身の回りの持ち物を見ると、どの子も恵まれている印象を受ける。日頃の会話の様子から、ゲームのソフトやカード類などを多く所有している児童も少なくない。
- 学習に対して受身な児童・発言に対して消極的な児童が多い。小グループでの学習であれば意欲が高まる児童が多く、日頃の授業づくりにおいてもグループ学習を取り入れている。

(3) 指導にあたっては次の点に留意したい。

- 導入では、家庭生活を営むために必要なお金を列挙させ、KJ法を使って分類させる。その際、目に見えない物に対してもお金が使われていることに気づかせ、お金がないと生活ができないことから金銭の大切さを理解させていくようにしたい。
- 買うときに気をつけることだけでなく、買う・買わないの判断時に気をつけることまで考えさせたい。フローチャートを活用し、欲しい物の購入までにどのようなことを考え判断していくか疑似体験的に学習できるようにしたい。
- 現代は商品の情報を得る手段や商品の購入方法が多様化していることに気づかせていき、その長所や短所を考える中で、情報を見極め正しく判断する力や態度が身についていくような学習活動の展開を図りたい。

(4) 情報モラル教育の視点から

- ・本時は、情報モラル指導モデルカリキュラムにおける分類3「安全への知恵」e3「情報の正確さを判断する方法を知る」の視点から授業を展開する。

3 題材のねらい

- 関心・意欲・態度 金銭の価値について考え、買い物するときに気をつけることを考えている。
- 創意工夫する能力 情報を活用し、工夫して商品を購入する。
- 生活の技能 目的に合った品物の選び方や買い方ができる。
- 知識・理解 品物についている基本的な表示の見方や商品の情報の受け取り方を理解している。

4 指導計画（4時間取扱：本時 4／4）

時	学 習 活 動	指導上の留意点	評価項目（方法）
第1時	○くらしの中で、お金をどんなことに使っているか話し合う。 ○くらしとお金の関係について考え、その大切さに気づく。	・お金の使われ方を目に見えるものと見えないものに分類させ、普段意識しないものに対してもお金が使われていることに気づかせたい。	○くらしとお金の関係を理解し、大切に使おうとしている。 (関：学習シート)
第2時	○教科書のフローチャートに従って、購入に至るまでを疑似体験する。 ○疑似体験後の感想を話し合い、買う前によく考えることが大切であることに気づく。	・二人組を作り、質問形式でフローチャートを進めさせる。 ・簡単に買い物できる環境が整ったことで、今は安易に買い物をする失敗が起きやすいことに気づかせたい。	○買い物の形態が多様化していることを理解し、購入する前によく考え計画的にお金を使うことができる。 (技：チャート式の疑似体験)
第3時 ・ 第4時 本時	○商品選びのポイントを家の人に聞き取り調査しておき、その結果を紹介する。 ○商品選びのポイントを食品と文房具に分けて考える。	・家族への聞き取り調査から、何らかの情報をもとに商品を選んでいることに気づかせたい。 ・食品とそれ以外の商品とに分けて考えさせ、商品によって選ぶポイントが違うことに気づかせたい。	○商品の情報を得る方法やその情報を有効に活用して品物を選ぶ方法を理解する。 (知：学習シート)

5 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・商品の情報を集める様々な方法や品物の選び方を考える。
- ・自分の消費生活を振り返り今後の生活に生かそうとする。

(2) 本時の展開

過程	学習活動 (◆主発問 ◇発問 ○説明・指示)	指導上の留意点	備考
導入 10分	<p>1、本時の学習への見通しを持つ。</p> <p>◇どちらを買いますか。</p> <p>◇どうしてですか。</p> <p>2、学習のめあてをつかむ。</p>	<p>○どちらを買うかクイズ形式で出題し、選んだ根拠を出し合う中で、商品を選ぶときには様々な視点があることに気づかせたい。</p>	<p>大型液晶テレビ</p> <p>学習シート1</p>
展開 25分	<p>3、課題解決をする。</p> <p>(1)食品を購入するときに気をつけることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品購入の際のポイントを出し合う。 ・品質表示の読み取り方を理解する。 <p>(2)文房具を購入するときに気をつけることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文房具購入の際のポイントを出し合う。 ・品質マークの種類やその意味について理解する。 <p>(3)学習のまとめをする。</p>	<p>○品質表示の画像資料を提示し、商品の情報の読み取り方をつかませる。</p> <p>○品質マークの画像資料を提示し、種類の多さやその意味をつかませる。</p>	<p>画像資料1</p> <p>画像資料2</p>
まとめ 10分	<p>4、これまでの消費生活を振り返り、今後の生活で気をつけることをまとめる。</p>	<p>○学習シートを準備し、これまで買い物をして失敗した経験を振り返らせる。</p> <p>○賢く買い物をするために今後気をつけることを出させ、学習のまとめとする。</p>	<p>学習シート2</p>

商品を選ぶときに気をつけることを考えよう。

商品についている表示(情報)をよく見て、目的に合ったよい商品を選ぶ。

6 モデルカリキュラムの位置づけ

情報モラル	道徳、各教科・特別活動 他
a3: 発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ	道徳 自分の責任「だれも知らないニュース」 ・自由、自律
b3: 情報に関する自分や他者の権利を尊重する	
c3: 情報社会でのルール・マナーを遵守できる	道徳 あいさつの大切さ「オーストラリアで学んだこと」 ・礼儀
c3: 情報社会でのルール・マナーを遵守できる	道徳 約束や規則の尊重「星野くんの二るい打」 ・規則の尊重
c3: 情報社会でのルール・マナーを遵守できる	社会 食糧生産を支える人々「これからの食糧生産」 ・これからの食糧生産と、環境・消費者について理解を深める。
d3: 情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる	総合的な学習の時間 インターネット利用上の注意「そのページ開いて大丈夫」 ・インターネット上には、さまざまな有害情報があることを知り、そのような情報に出会った場合の適切な対処法を考えることができる。
d3: 情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる	総合的な学習の時間 電子メールの利用「電子メールの使い方」 ・メールの利用上のルールやマナーを学ぶとともに、チェーンメールや迷惑メールなどの問題点を理解し、適切に対処できる。
e3: 情報を正しく安全に利用することに努める	家庭 くふうしよう！かしこい生活「品物の買い方を考えよう」 ・金銭の大切さを理解し、品物の情報を上手に活用しながら、目的に合った品物の選び方や買い方ができる。
e3: 情報を正しく安全に利用することに努める	国語 「ニュース番組作りの現場から／編集して伝える」 ・ニュース番組の取材から放送までの大事なことを読み取り、グループ毎に必要な材料を集め伝えたいことを考え編集し、伝える活動をする。
f3: 安全や健康を害するような行動を抑制できる	
g3: 生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る	
h3: 情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる	
i3: 情報社会の一員として、公共的な意識を持つ	道徳 公共の広場を大切に「駅前広場はだれのもの」 ・公德心